

乳腺の手術を受けられる方へ

月日	/	/		/
経過（病日等）	入院当日（手術前日）	手術直前	手術直後	手術後 1 日目
	- 手術に必要な準備を整えましょう。 - 不安なこと、不明点は看護師にお伝えください。	安心して手術に臨めるように、準備を整えましょう。	痛みや吐き気など苦痛が強いときは看護師にお知らせください。	- 少しずつ歩く練習をしましょう。 - 痛みが強いときは看護師にお知らせください。
点滴			手術室にて点滴があります。	点滴があります。
薬	- 現在内服している薬を確認します。 ☐ 普段通りお飲みください。 ☐ 中止の薬があります () 	- 内服について ☐ 普段内服している薬は飲まないでください。 ☐ 医師の指示により () を (:) に内服します。	痛みが強い場合は痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師または看護師にご相談ください。	- 普段内服していた薬が再開となる予定です。看護師が説明いたします。 - 痛みが強い場合は痛み止めの薬もあります。我慢せず、医師または看護師にご相談ください。
検査	リンパ管造影検査がある方は、検査 1 時間前に乳房に痛み止めのテープを貼ります。 (:) 時間厳守で 1 階放射線科へ検査に降りてください。			(血液検査、尿検査、レントゲン) があります。
処置	感染予防のために必要な範囲の除毛をします。	- 呼び出しがありましたら手術着に着替えて、弾性ストッキングをはきます。 下着（パンツ・ショーツ等）は着用できます。 (生理中の方は看護師に申し出てください。) - 歩ける方は歩いて手術室に行きます。	- 足に血栓予防のためにフットポンプ（ふくらはぎのマッサージ器）が付きます。 - 酸素吸入を翌日朝まで行います。 - 背中から痛み止めの管が入ってくる場合があります。 - 胸に管が入ってくる場合があります。	- フットポンプ（ふくらはぎのマッサージ器）は朝の着替えの時にはずします。 朝、医師が創（きず）のチェックをします。 
活動 安静度	- 制限はありません。 - 手術に備えてゆっくりお休みください。	制限はありません。	- ベッド上安静になります。寝返りはできます。 - 胸に管が入ってきた場合、手術した側の腕は 90 度以上挙げないように気をつけてください。	- 朝から歩行可能となります。最初の歩行時は必ず看護師が付き添いますので、お待ちください。 - 胸に管が入っている間は、手術した側の腕は 90 度以上挙げないように気をつけてください。
食事	- 午後 9 時以降は禁食となります。 - 翌朝 8 時までは水またはお茶のみ摂取可能です。 - 食事療法をされている方、アレルギーがある方はお知らせください。	- 朝 8 時以降は飲水を制限させていただきます。水分補給目的で「経口補水液 OS-1（オーエスワン）300ml」をお配りします。 ☐ 10 時までに計 2 本をお飲みください。 ☐ 13 時までに計 3 本をお飲みください。	禁飲食です。 	- 朝から飲水および流動食が開始となります。 - 昼から通常のお食事に戻ります。
清潔	- シャワー浴ができます。 - リンパ管造影検査を行った方は、印が消えないように気をつけましょう。	- 安静のため、シャワー浴などはできません。 - 朝の洗顔は可能ですが、クリームなどはつけないでください。		- 身体を拭くための温かいタオルをお持ちします。 - パジャマへの着替えをお手伝いいたします。
排泄		手術に呼ばれましたら、トイレを済ませてお待ちください。	手術後は、尿の管が入っています。 	- 尿の管を抜きます。 - 尿の管を抜いた後の尿の排泄状況を看護師が確認しますのでお知らせください。
説明 生活指導	- 入院生活について説明いたします。 - 手首にリストバンドをつけます。 - 手術に必要な物品の確認をします。 - 入院備品セット B セットをご購入ください。 - 手術の一連の流れについて説明します。 - 手術に関する同意書について確認します。 - 手術中の顔色や爪色の観察のため、化粧やネイルカラー・ネイルアートは落としてください。	- 手術室へ出発するときは、時計、眼鏡、コンタクトレンズ、義歯、湿布、指輪、かつら・ヘアピン、ネックレス、ピアス・補聴器を外します。 「手術を安全に受けていただくためにご協力ください」のチェックリストに沿って確認します。 - 手術室に行く前に、手術をする側の手背または足背に医師がマジックで印をつけます。 - 手首にリストバンドがついているか確認してください。 - 長い髪の方は飾りのないゴムで 2 つにむすんでください。	創（きず）の痛み、吐き気等が出現する可能性があります。そのような場合は、看護師へお知らせください。	- リンパ管造影をした場合は、手術をした側の腕での血圧測定、採血、点滴投与はできません。 - 胸の管が入っている場合は、手術した側の腕を 90 度以上挙げないように気をつけましょう。

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。

※入院期間については現時点で予測される期間です。

2022 年 11 月改訂

月日	/ ~ /	/ ~ 退院
経過（病日等）	手術後 2～3 日目	手術後 4～5 日目(退院)
	- 痛みが強いときは看護師にお知らせください。 - 手術後の痛みをできるだけ少なくし、少しずつ動ける範囲を広げましょう	- 退院に向けて不安なことは医師または看護師に相談しましょう。 - 退院に向けて散歩など活動範囲を広げ、元の生活に戻れるようにリハビリをしましょう。 - 退院後の生活について理解しましょう。
点滴	点滴はありません。	
薬	- 中止の薬以外、通常通りお飲みください。 - 痛みが強い場合は痛み止めの薬もあります。我慢せず医師または看護師にご相談ください。	
検査		
処置		医師が胸に入っている管を抜く予定ですが、状況をみて判断します。 
活動・安静度	- 歩行は特に制限はありません。 - 胸に管が入っている間は、手術した側の腕は 90 度以上挙げないように気をつけてください。	- 胸の管が抜けたら、手術した側の腕の挙上制限はなくなります。 - リハビリ科の診察を受けていただく場合があります。
食事	制限はありません。	
清潔	- 下半身のみシャワー浴ができます。看護師にお声をおかけください。 - 上半身を拭くための温かいタオルをお持ちします。 - 看護師が洗髪のお手伝いをします。 	- 胸の管が抜け、止血が確認されたら全身のシャワー浴ができます。 - 初回のシャワー浴の際は看護師にお声をおかけください。
排泄	制限はありません。	
説明 生活指導	- 少しずつ歩ける範囲を広げましょう。 - 胸の管が入っている間は、手術した側の腕を 90 度以上挙げないように気をつけましょう。 - リンパ節消毒をした場合は、手術をした側の腕での血圧測定、採血、点滴投与等はできません。 「乳腺術後 退院後の生活について」のパンフレットをお渡しします。 	「乳腺術後、退院後の生活について」のパンフレットを用いて退院後の生活について説明いたします。 - 別紙にて次回外来日について説明いたします。 - 次回外来日まで湯船につかることは控えてください。 - 退院後も創を清潔に保ちましょう。 - 運動については医師とご相談ください。 

※治療・経過については、現時点で考えられるものであり、今後検査・治療経過によって変更になる場合があります。
 ※入院期間については現時点で予測される期間です。